

**令和4年度(2022年度)
第4回長房中学校区地域づくり推進会議**

地域づくりの必要性和未来像

1 地域づくりの必要性

(取組の背景)

地域を取り巻く環境の変化

- 人口減少・少子高齢化の進行による担い手不足、地域活力の低下
- 高齢者世帯や単身世帯などの増加
- つながりに対する考え方の多様化による地域コミュニティの希薄化

社会環境の変化

- ライフスタイルや家族形態の変化による価値観の多様化
- 感染症対策への意識の高まりやデジタル・トランスフォーメーション(DX)の進展に伴う「新しい生活様式」への転換
- 自然災害の頻発化・激甚化などによる環境問題への意識の高まり

新たに生じている社会的課題

- 子どもの貧困、老老介護、児童虐待、教育格差、ダブルケア、ヤングケアラーなど

解決困難な課題が顕在化

- 地域のなかで孤立を深め、不安を感じる住民の増加
- 地域や住民のニーズが複雑化・多様化
- 地域や行政を安定的かつ持続的に維持・運営していくことが困難に

今こそ、地域と行政を変革する

地域づくりを進めていく必要性

があります！

地域づくりでは、

**地域と行政、2つの視点からの変革をめざして
「地域づくりの未来像」を定め、その実現に向けて
地域と行政が協力して取り組んでいきます。**

< 変革の視点 >

地域の姿(役割)

- 身近なところで安心できる、ゆるやかなつながりづくり
- 課題解決に向けた自立的・主体的な取組
- 持続可能な地域社会に向けたしくみづくり

行政の責任

- 地域のつながりづくり支援
- 各地域の実情に応じた施策・事業の展開
- 安定的で持続可能な行財政運営

2 地域づくりの未来像

地域づくりの未来像(地域)

1. 多様なつながりをもとに安心して暮らせる地域社会

日常生活での顔の見える関係性のなかでの支えあい、担いあいを通して、誰もがずっと安心して住み続けられる地域をめざします。

2. 地域の自立性・主体性を発揮

従来の制度の縦割りや分野の垣根を超えて、地域の実情やニーズを捉えた柔軟な課題解決を実現していきます。

3. 将来にわたり暮らしを支える「新しい地域のつながり」

デジタル技術も活用しながら多くのステークホルダーとの連携を深め、地域の潜在的なポテンシャルを掘り起こしながら、持続可能な地域社会をつくっていきます。



中学校区単位に設置を進めている
地域づくり推進会議を母体実践していきます

地域づくり推進会議とはどんなもの？

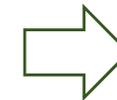
地域の未来像の実現に向けて、地域の幅広い分野・世代の活動団体や住民がともに取組を行っていくための「**地域のプラットフォーム**」となるものです。

- 誰でも自由に参加できて、気軽につながりを持てる場になる
- 地域のなかで孤立を深め、不安を感じる住民を地域で支援



地域の未来像1

- 地域の課題解決に向けた取組を話し合い、合意形成を図る
- 行政の地域単位での施策・事業の展開に合わせた地域独自の取組



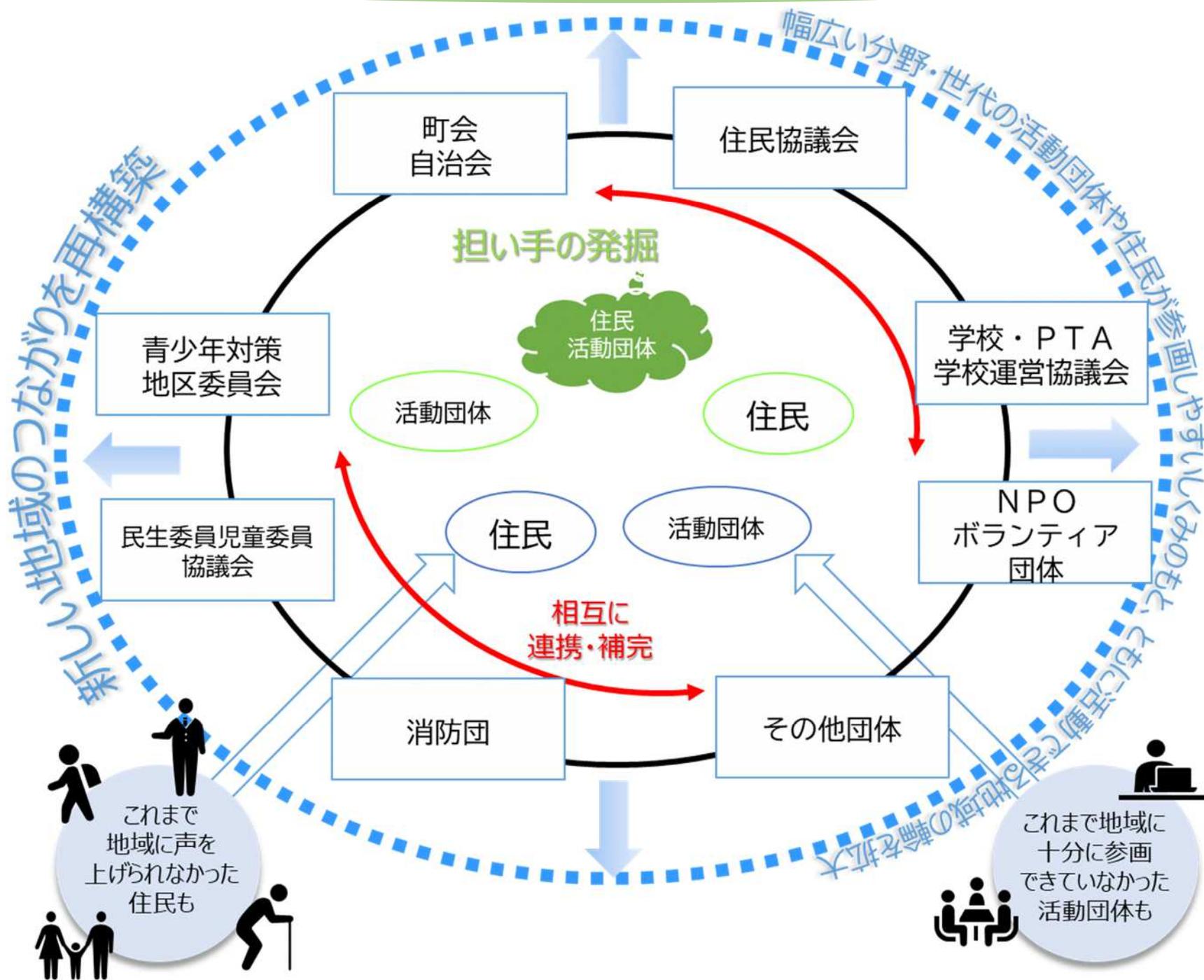
地域の未来像2

- 地域と行政との役割分担による、新しい公共サービス「地域公共サービス」の実現
- 「新しい地域のつながり」の再構築により持続可能な地域社会へ



地域の未来像3

< 地域づくり推進会議を母体とする地域づくりの未来像（イメージ） >



地域づくりの未来像(行政)

1. 地域に対する支援体制の確立

地域のことを地域と一緒に考えるしくみを構築していきます。
また、安心感の持てるつながりづくりを支援し、居場所や活動拠点の整備を進めます。

2. 圏域や中学校区単位での多様な施策・事業の展開

多様化・複雑化する地域課題に柔軟に対応するために、地域単位での施策・事業の展開を図っていきます。

(ただし、全市規模で実施することが効果的・効率的である施策・事業については、これまでどおり行政で責任をもって、一元的・画一的なサービス展開を行います。)

3. 役割とニーズを踏まえた「地域公共サービス」の実施

地域が担うことによってこれまで以上に効果的・効率的に実施できる事業や取組について模索しながら、地域と行政との役割分担によってニーズに合った「地域公共サービス」の展開、充実を図ります。



市役所(行政)のあり方や体制を見直しながら、
地域にとっての未来像の実現を後押ししていきます。

3 当面の取組

地域づくりの未来像の実現に向けて、八王子市では、

地域づくり推進会議の設置を進め、役割・機能の充実

に向けた取組を進めていきます。



その中で、地域の皆様のご協力をいただきながら、次のようなことについて検証を重ね、充実した制度の構築をめざしていきます。

推進会議の体制

活動の財源

行政からの支援

4 最後に

モデル地区では、令和3年度(2021年度)から推進会議を設置し、
「地域が主体的に地域づくり推進会議を運営」できるように検討を
進めてきました。

**今後、地域づくりの未来像を踏まえたうえで、地域の
実情に応じた体制の構築に向けて検討していきます。**

構築に当たっては、推進会議参加者をはじめとする多くの方々の参加が不可欠となりますので、引き続き、御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。